



新芽

たていし園瓦版

<http://www.tateishien.co.jp>
info@tateishien.co.jp

VOL. 44
4月1日号



新茶入荷しました！

「新茶」ということばは、世間にわりと浸透していると思います。毎年この時期だけの新茶の魅力をお伝えしたく、記述しています。新茶と、いつものお茶とどこがちがうのでしょうか？

「新茶」とはその年の一番最初に出た新芽を採取したお茶のことです。立春から数えて、八十八夜の頃(今年は5月2日)に新茶の最盛期を迎えます。

桜の開花のように九州など暖かい地域から順に摘み始めます。

産地により異なりますが、茶摘みは年間2〜4回程度行われます。ですから新茶のことを別名「一番茶」とも言います。一番茶を摘んだ後に芽吹いた新芽を二番茶といい、一番茶後約50日前後で摘まれます。

新茶は、前年の秋から冬にかけて十分休眠し冬を越した後、春の日差しをいっぱい浴び体いい成分を蓄積するため、成分的にも上質とされます。

新茶の特徴は、何と言ってもあのさわやかな若葉の香りと、水色の鮮やかさです。湯冷ましてゆつたりと味わいたいです。

ちなみにこの時期摘んだ葉を水温で保管し秋頃出したものを「蔵出し」とか「壺切り」のお茶といい、温かいお茶が恋しくなってくる頃にもう一度旬の香りを楽しめます。「秋摘み新茶」はその名のとおり秋に摘むお茶で、三、四番茶になります。

今年はやや暖かめなので、少し早く、そしてよい成長を見せていますので、味も期待できます。例年よりおいしい新茶を少し早くお届けできる予想です。



好評販売中

鹿児島県産新茶100g・・・1,050円
5月1日 入荷しました！
静岡県産新茶100g・・・1,260円
※かりがねが新茶に代わるのは夏の終わり頃になる予定です。

マイ水筒 で出かけ

春といえばお花見の季節ですね。お花見は終わっても暖かいこの時期お弁当を持って外で食べるのは楽しいものですね。

お弁当と一緒にマイ

水筒を持っていきたいがでしよう？水も入れやすく、中を洗いやすい大きめの口でそのまま飲めるマグタイプがおすすめです。



最近水筒を持ち歩く方が増えてきています。確かに、ペットボトルを買うよりずっと経済的。しかも自分好みの飲み物を、好みの濃さや味で入れられ、保温・保冷効果もある。さらに環境にもやさしい！

温かいお茶は色が変わりやすいので、水出しのお茶、または氷の上に温かいお茶を注ぐロックティーがおすすめです。

マイ水筒におすすめのお茶をご紹介します。

ロックティー

ロックティーはお好きなお茶をいつもより多めに葉を入れて濃い目に淹れます。

水を入れた水筒に注いで、最後にまた水を入れて出来上がり。



水出しのお茶

好きなお茶で淹れられます。おすすめは煎茶や抹茶入り玄米茶などが色もきれい。冷水ポットに(2リットル)にお茶4杯(20g)が目安。冷蔵庫で1〜2時間位待ちます。お手軽なティーパックもあります。

かりがね5g×30p・・・630円
抹茶入り煎茶5g×30p・・・525円

店頭でマイ水筒を持参するとお茶を淹れさせていただくお茶屋さんが増えていきます。当園でもイズミ蔵王店で始めました。コーヒーや紅茶も入れてくれるお店があるので、これからはマイ水筒を持ち歩いてみませんか？

茶碗選びのポイント

茶碗の形は大別して2種類あります。ひとつは背が低く飲み口が広がっている「汲出し茶碗」で、煎茶や玉露用茶碗としてもてなしように使われます。

もうひとつは汲出し茶碗より背が低く、太い筒のような「湯飲み茶碗」で、普段使いの茶碗として使われます。大振りのものは番茶やほうじ茶専用です。

次号では茶碗を手にとったときの重さや感触「手どり」についてご紹介予定です。

編集後記

春は新入学の季節ですね。1年前息子の保育所の入所でした。始めの頃は別れ際泣いてばかりで、こちらが切ない思いをしていました。あれからもう1年。やっと保育所生活が楽しくなったようです。子供の1年の成長はすごいですね。この1年でどう成長するのか楽しみです。